

「ミニトマト生産者からみなさんへ」

～私の農業・農業への思い～

2025年2月7日

ヒラク農園 牧谷 拓

子供二人います



菜那

莉果

仕事では

三重県トマトほ場共進会で 5年以上連続受賞中！



平成31年1月1日の日本農業新聞 みえより

「思いを持ち正しい選択を考える」

施設農業の話が中心になりますが
大体の植物に共通するお話です

内容は農業の入り口付近です

＊ 農業じゃない仕事を目指す人にも
聞いて欲しいです！！

今回の内容について

少しでも思いが届くよう一生懸命
がんばります。

少しでも今後の参考にして欲しいです



間違っているとこあったらごめんなさい

今回のお話では

- 失敗から学んだこと
- ミニトマトの外側の話
(ブランド化について)
- ミニトマトの中身の話
(美味しくつくるために光合成)
などを行います

1 自己紹介

志摩市出身

中学1年生まで両親が滋賀県で酪農を経営
その後志摩市でミニトマト栽培を開始

2003年 三重県立久居農林高等学校に入学

2006年 三重県立久居農林高等学校卒業

2006年 三重県農業大学校に入学

2008年 三重県農業大学校を卒業後に親元就農

1～3年目

まだ経営に携わろうという思いはなかった

仕事では何をどうしたらいいのか？

自分は何をしたいのか？ということで悩んでいた

4年目

ハウス移設

「農業で生きていこう」という気持ちになる

農業従事者から農業経営者になりたいと思うようになる

6年目

環境制御技術に取り組むようになる

9年目 結婚

10年目 ハウス償還終了

農業の魅力・やりがい

成長を感じる所

植物を育てて人間も育つことができる所が好きです

2 ミニトマト栽培について

ミニトマトを施設栽培しています
11アール(現在増設中)

品種はキャロルスター(サカタのタネ)

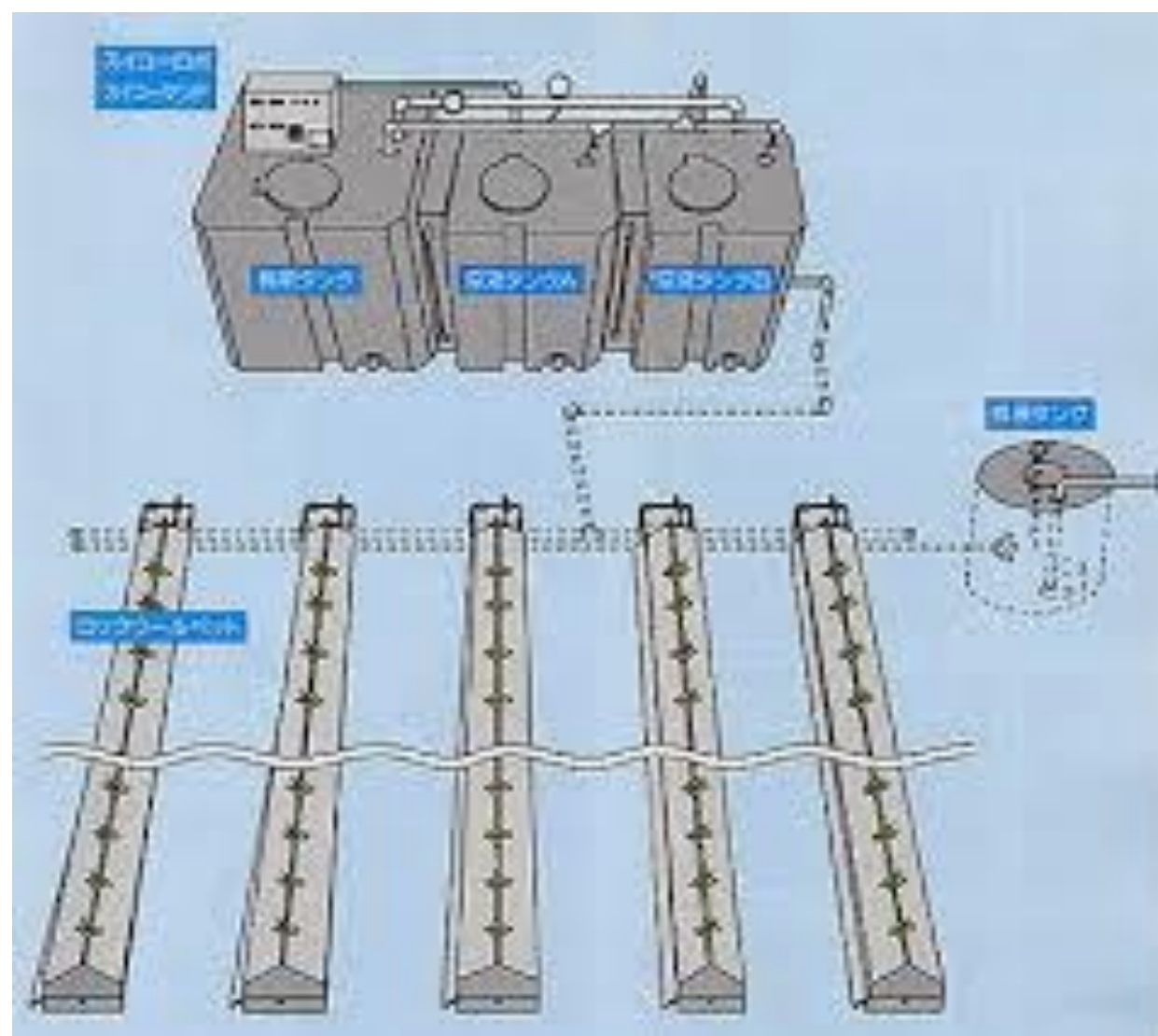
ロックウール栽培

8月定植 1600本
10月収穫開始
翌年の

6月いっぱいまでの長期栽培です

土足禁止です













管理について

収穫 → 袋詰め → 出荷
採れ始めたらずっと

芽かき→葉かき→誘引


* 作業になってしまわないように
それぞれの管理に意味がある

就農3年目までは市場出荷のみ
5年目から直売所出荷だけになりました

- ・地元イオン2店舗
- ・地元マックスバリュ
- ・鳥羽マルシェ

などをメインに出荷しています



このミニトマトを

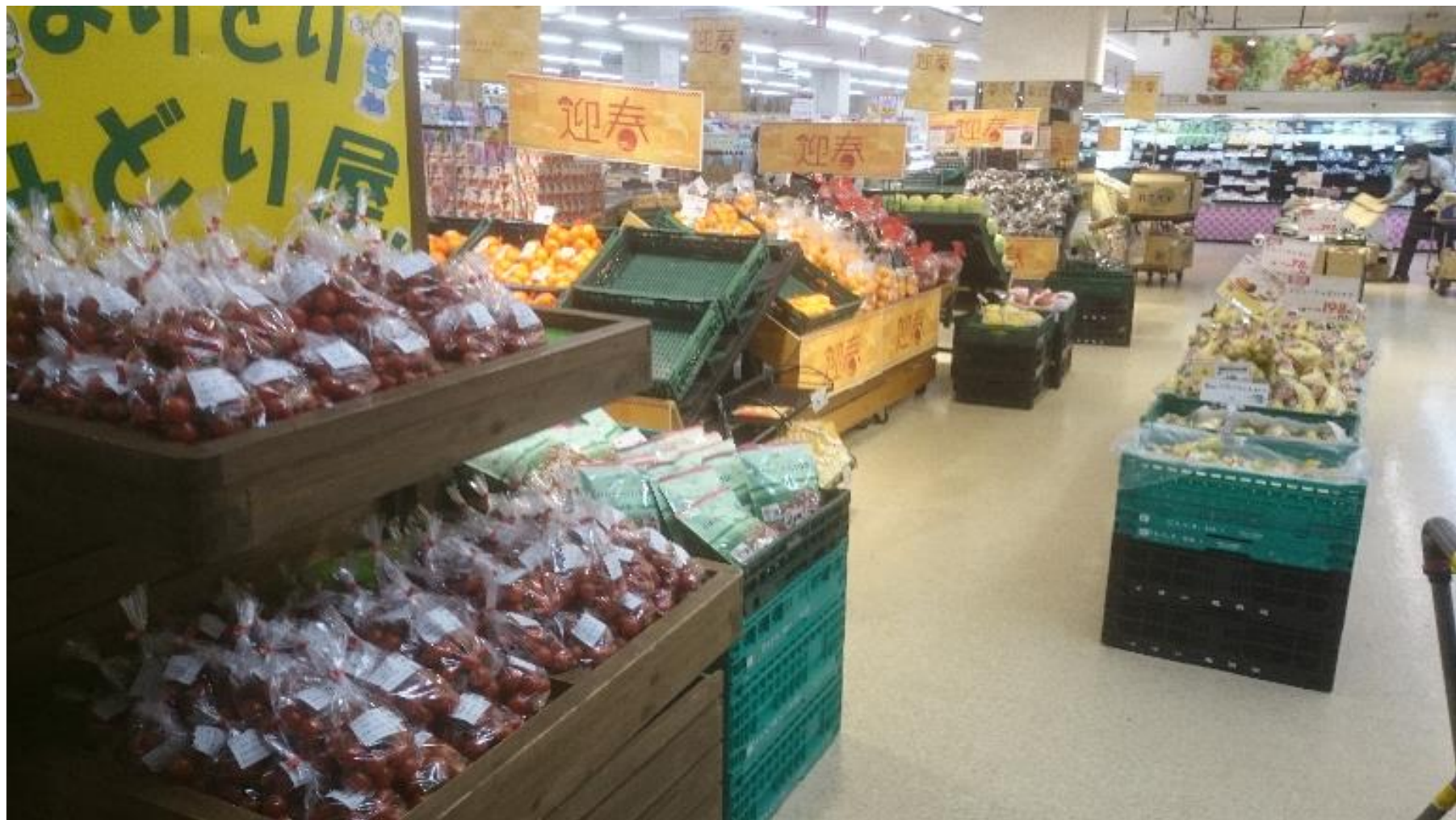
栽培している地元の産子農家です

※産地：岡山県
トモモもみもみ、赤肉種によって糖度が異なります。お召し上がり時
は、お味、お色、お形も異なります。お召し上がり時、お味、お色、お形も
異なります。

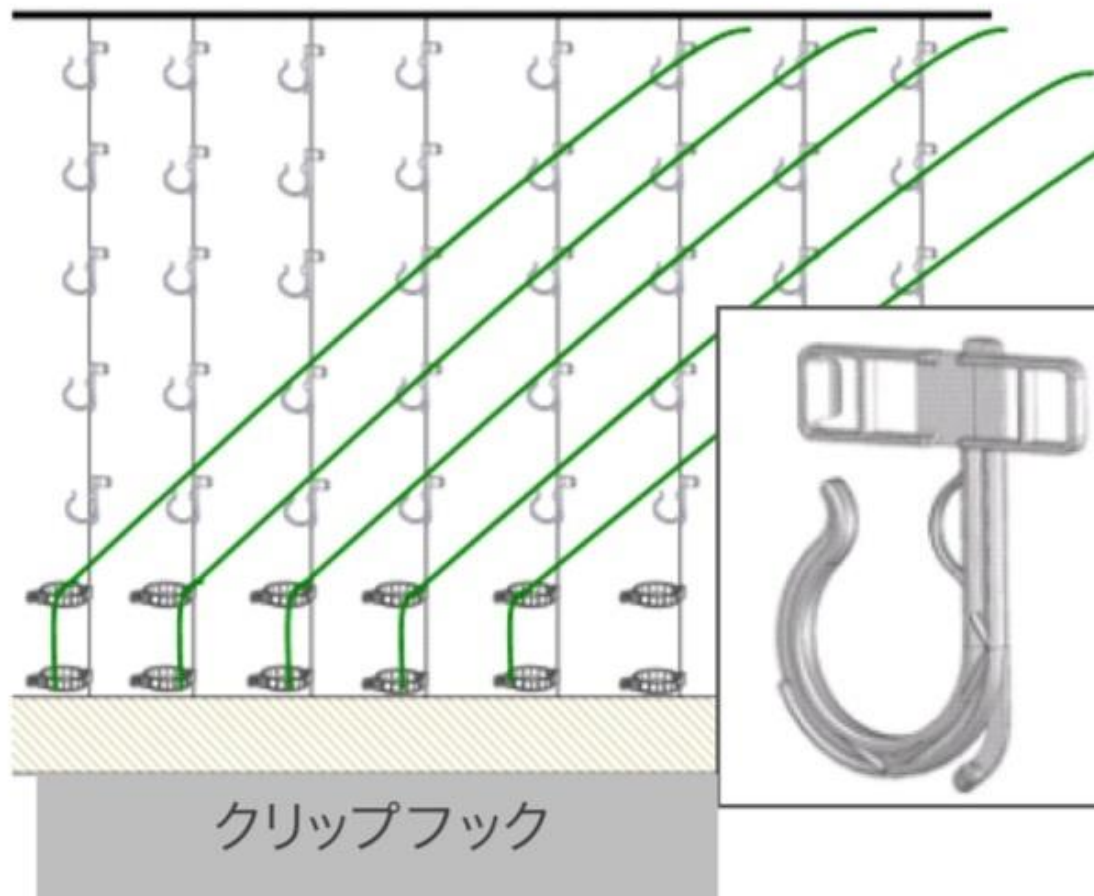
※産地の産子農家の産子農家です

※産地：岡山県

※産地：岡山県、岡山県産子農家の産子農家です



誘引の種類



クリップフックの斜め誘引





クリップハンガー



ローラーフック

巻き付けて吊り下ろしていく



3 様々な失敗経験からの考え方の選択

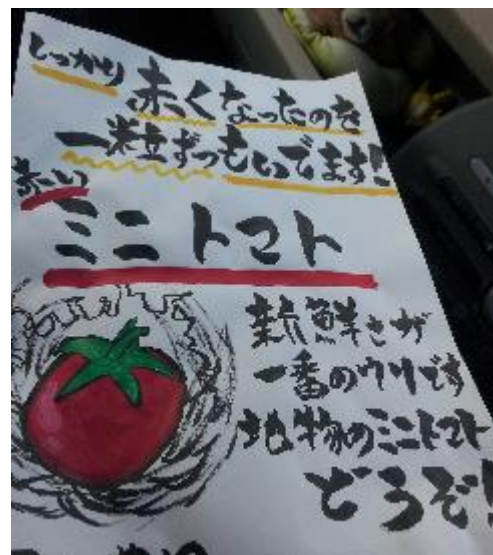
- ・加工品（6次化）

割れたトマトが多かったので委託製造のドライトマトにするも
売る方を考えてなくて在庫を抱えてしまう

トマトは割れるものだと思っていた
割れるのを防ぐことを考えないといけなかった

- ・マーケティングの勉強をした（売る方の勉強）
ポップ作りや筆文字講習

生産量を伸ばすことをあきらめていた
売る勉強でしか売り上げは伸びないと思っていた



- ・毎年品種を変更してしまう

品種の特徴を理解し作り慣れるためにも
ある程度の年数は品種を固定した方が良かった

- ・多様な品種の栽培
個性を出そうと思うが中途半端になってしまった
収穫も別々で売るのも大変

技術を固めて売り先も確保してからだと思った

気持ちだけで安易に決めないことが大切
「選択」の重要性を痛感した

何となくではじめて
悪い失敗をしない

仮説を立てた上で
いい失敗にしよう

